

来！BuRaRi

にほんじ

“来！BuRaRi”はライブラリの意味ですが、ぶらりと来てもらえる図書館に！との思いも込めています！
“にほんじ”的題字は、寄席文字書家の橋右女次（たちばなうめじ）さんによるものです。

日本橋図書館
館 報
刊行物登録番号
2-106
2021.3.15
(No.97)

発行
中央区立日本橋図書館
中央区日本橋人形町
1-1-17
(3669)6207

（題字／橋 右女次）

数字で
見る

日本橋図書館のこの一年

日本橋図書館で貸し出しされた中で、何が人気だったのでしょうか。

一般書・児童書・視聴覚のベスト5をご紹介します。

ベストリーダー

（令和2年4月1日～令和3年1月31日）

一般書

順位	タイトル	貸出回数
1位	蜜蜂と遠雷／恩田 陸	92回
2位	沈黙のパレード(ガリオ9) ／東野圭吾	87回
2位	昨日がなければ明日もない (杉村三郎シリーズ5)／宮部みゆき	87回
2位	マスカレード・イブ ／東野圭吾	87回
3位	希望の糸／東野圭吾	84回
4位	マスカレード・ナイト ／東野圭吾	83回
5位	嫌われる勇気 ／岸見一郎・古賀史健	77回
5位	かがみの孤城 ／辻村深月	77回

児童書

順位	タイトル	貸出回数
1位	だるまさんが かがくいひろし	117回
2位	しろくまちゃんのほつとけーき ／わかやまけん	92回
3位	だるまさんの かがくいひろし	88回
4位	おつきさまこんばんは ／林 明子	76回
5位	からすのパンやさん ／加古里子	71回



視聴覚

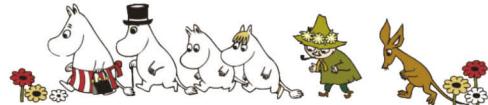
順位	タイトル	貸出回数
1位	Life is going on and on ／MISIA	29回
2位	エヴァンス・イン・イングランド ／ビル・エヴァンス	26回
2位	BOOTLEG ／米津玄師	26回
2位	Turntable ／竹内まりや	26回
3位	Traveler ／Official 髪男 dism	25回
4位	続 僕たちの洋楽ヒット vol.7 '67～'68 ／オムニバス	24回

順位	タイトル	貸出回数
4位	海の Oh, Yeah!! ／ザザンオールスターズ	24回
5位	マイ・ソングス ／ステイング	23回
5位	フォー・セル・セッションズ ／ザ・ビートルズ	23回
5位	MAGIC ／back number	23回
5位	Perfume The Best “P Cubed” ／Perfume	23回
5位	diorama ／米津玄師	23回

ムーミンとトーベ・ヤンソン

1945年に最初のムーミン物語『小さなトロールと大きな洪水』が発表されてから、今年で76年になります。世界中から愛されるムーミンとトーベ・ヤンソンについて特集します！

トーベ・ヤンソンってどんな人？



「ムーミン」シリーズの作者として有名なトーベ・ヤンソンは、1914年8月9日にフィンランドのヘルシンキで生まれました。本名はトーベ・マリカ・ヤンソン。スウェーデン語系フィンランド人で彫刻家の父ヴィクトル・ヤンソンと、スウェーデン人で挿絵画家の母シグネ・ハンマルステン=ヤンソンとの間に長女として生まれ、トーベ自身も生涯、スウェーデン語を用いました。2人の弟も写真家や小説家という芸術一家で育ち、ストックホルムの芸術学校で学び、卒業後はドイツ・イタリア・パリなどヨーロッパ中を旅しました。最終的にはヘルシンキに戻り、政治風刺を中心とする雑誌『ガルム』の挿絵画家になります。

1945年に最初のムーミンシリーズ『小さなトロールと大きな洪水』を出版し、1948年に発表した『たのしいムーミン一家』が世界中で大ヒットします。トーベの弟ラルス・ヤンソンと共にムーミン・コミックスを描き始め、フィンランドにある小さな無人島クルーヴ島を借り、子供の頃と同じように、そこで夏を過ごすようになります。

1955年からはイラストレーターでグラフィックデザイナーでもあるパートナーのトゥーリッキ・ピエティラと共に多くの時間を過ごし、ギリシア・パリなど度々旅に出かけました。日本にも1971年に来日し、その後も何度も訪日しています。トーベ・ヤンソンはムーミンのほかに大人向けの小説『彫刻家の娘』など多くの作品を執筆し、日本語に翻訳されたものもあります。また、イラストレーター、画家としても多くの作品を残し、様々な分野で才能を發揮しました。

スウェーデン・フィンランドのあらゆる賞、国際アンデルセン賞などを受賞し、2001年に86歳で亡くなりました。トーベ・ヤンソンの作品は、多くの言葉に翻訳され、日本をはじめ、今でも世界中で愛されています。

ヤンソンとムーミンのアトリエ

木之下晃

Photos from the atelier of Tove Jansson,
creator of the Moomins
Akira KINOSHITA
ROTANSIA



<参考文献>

『ようこそ！ムーミン谷へ』

ミルヤ・キヴィ／文 トーベ・ヤンソン／絵 末延弘子／訳
講談社／2005

『ムーミンのふたつの顔』

富原眞弓／著 筑摩書房／2005

『ヤンソンとムーミンのアトリエ』
木之下晃／著 講談社／2013

トーベ・ヤンソン略年表

- 1914 ▶ 0歳** 8月9日、フィンランド・ヘルシンキに生まれる。
- 1920 ▶ 6歳** 弟 ペル・ウロフ生まれる。
- 1926 ▶ 12歳** 弟 ラルス生まれる。
- 1928 ▶ 14歳** 自作の詩とイラストが雑誌「アッラス・クロニカ」に掲載。
- 1929 ▶ 15歳** スウェーデン語系の政治風刺雑誌「ガルム」にはじめて挿絵が掲載され、1953年の廃刊まで常連画家として活躍。
- 1930 ▶ 16歳** スウェーデンに留学、母の母校ストックホルム工芸専門学校で3年間学ぶ。
- 1933 ▶ 19歳** ヘルシンキにある父の母校アテネウム美術学校で、1937年まで断続的に学ぶ。
- 1938 ▶ 24歳** パリの美術学校で学ぶ。
- 1944 ▶ 30歳** 「ガルム」10月号の表紙でトーベのサイン脇にムーミントロールらしき姿が描かれる。
- 1945 ▶ 31歳** ムーミン物語第1作『小さなトロールと大きな洪水』を刊行。
- 1958 ▶ 44歳** 父 ヴィクトル死去。
- 1964 ▶ 50歳** ペッリンゲ群島沖の小さな無人島クルーヴ島にパートナーのトゥーリッキと小屋を建てはじめる。1965年から1991年まで毎夏ここで過す。
- 1966 ▶ 52歳** 国際アンデルセン賞を受賞。
- 1968 ▶ 54歳** 大人向けの最初の小説『彫刻家の娘』刊行。
- 1970 ▶ 56歳** 母 シグネ死去。
- 1971 ▶ 57歳** 短編小説集『聴く女』刊行。
トゥーリッキと来日。そのまま翌年にかけて世界一周旅行。
- 1978 ▶ 64歳** オーボ・アカデミー(現・ヘルシンキ大学)より名誉博士号を授与。
短編小説集『人形の家』刊行。
- 1986 ▶ 72歳** タンペレ市立美術館にムーミンに関するすべての作品を寄贈。
同館で「トーベ・ヤンソン」展開催。
- 1994 ▶ 80歳** スウェーデン・アカデミー大賞受賞。
- 2001 ▶ 86歳** 6月27日、ヘルシンキで死去。

ムーミンシリーズについて

ムーミンシリーズには、トーベ・ヤンソンが執筆した小説が9冊、絵本が3冊、弟のペル・ウロフと共作した写真絵本『ムーミンやしきはひみつのにおい』(未所蔵)、末弟のラルス・ヤンソンと共に作したムーミン・コミックスがあり、その他に小説や漫画のエピソードを幼児向けにした絵本や、アニメ作品・映画作品があります。

以下は図書館に所蔵しているムーミン作品の一部です。是非読んでみてください。
(全ての作品の作者であるトーベ・ヤンソンは、作者名のところに表示せず省略してあります。)

タイトル	
小説	小さなトロールと大きな洪水
	ムーミン谷の彗星
	たのしいムーミン一家
	ムーミンパパの思い出
	ムーミン谷の夏まつり
	ムーミン谷の冬
	ムーミン谷の仲間たち
	ムーミンパパ海へいく
	ムーミン谷の十一月
絵本	それからどうなるの?
	さびしがりやのクニット
	ムーミン谷へのふしきな旅



■ 小説

『ムーミン全集』(講談社)

『ムーミン童話全集』(講談社)

■ 絵本

シリーズ「トーベ=ヤンソンのムーミン絵本」渡部 翠／訳(講談社)

■ コミック

『ムーミン・コミックス』全14巻 ラルス・ヤンソン／著 富原眞弓／訳(筑摩書房)

『ムーミン・コミックス英語対訳一』ラルス・ヤンソン／著 富原眞弓／訳・注

安達まみ／訳・注(筑摩書房)

■ エピソードを絵本化したもの

シリーズ「絵本・ムーミン谷から」岡村美恵子／構成・文(講談社)

シリーズ「ムーミンのおはなしえほん」ラルス・ヤンソン／原作・絵 当麻ゆか／訳(徳間書店)

■ 映像資料

ビデオ『楽しいムーミン一家』(テレビ東京メディアネット)1~3、5~8、12・13巻

DVD『ムーミン谷とウィンターワンダーランド』(アミューズ)

DVD『ムーミンパペット・アニメーション冬の巻／ムーミン谷の冬』(NHK EP)

■ その他

『ムーミン画集ーふたつの家族ー』トーベ・ヤンソン／絵・文 富原眞弓／文(講談社)

『ムーミン谷のひみつの言葉』富原眞弓／著(筑摩書房)

『ムーミンの生みの親、トーベ・ヤンソン』トゥーラ・カルヤライネン／著 セルボ貴子／訳 五十嵐淳／訳(河出書房新社)

『トーベ・ヤンソンー仕事、愛、ムーミンー』ボエル・ウェステイン／著 畑中麻紀／共訳 森下圭子／共訳(講談社)

『ムーミン童話の百科事典』高橋静男「ムーミンゼミ」／編 渡部翠／編(講談社)

日本橋地区の寺・神社 其の十三

矢の庫稻荷神社

矢の庫神社は、穀物の神である宇賀魂命を祀る神社です。

歴史

東日本橋一丁目辺りは、江戸初期の頃「谷野」「矢野」と呼ばれていました。正保2(1645)年に徳川幕府がここに米蔵を建て、谷野蔵、矢之倉と称しました。その中庭に蔵の鎮守として三社を合祀した『三社稻荷神社』をまつり、これが現在の『矢の庫稻荷神社』のはじまりです。

三社は中央の『谷野蔵稻荷』、左の『福富稻荷』、右の『新左衛門稻荷』から成り立っていましたが、五十年ほど経た元禄11(1698)年に蔵が火災で消失したため、幕府は蔵を鉄砲洲に移す事になり、三社稻荷も一緒に移されました。

蔵の跡地に住んでいる人たちがその名を惜しんでそこに三社稻荷を残し、『矢の倉三社稻荷』としてまつられました。



後年、明治6(1873)年に『新左衛門稻荷』が、昭和7(1932)年には『福富稻荷』が、『初音森神社』に遷座合祀されたと伝えられています。

残る『谷野蔵稻荷』は変遷場所を何度も変え、現在の東日本橋二丁目6番4号に社を構える事になりました。

その間に名称に使われていた文字も『矢の庫稻荷』と、特に“庫”的文字を強調した呼称に改められました。祭神は『三社稻荷神社』と同様「宇賀魂命」と考えられ、ご神体は現存していませんが、翁の形で手に鎌と稻穂を持つと伝えられています。

また蔵が鉄砲洲に移った後、幕末までこの地域は北東部が町屋に、北西及び南部が武家地となり、柳沢出羽守屋敷やいくつかの屋敷に分割され、その後松平壱岐守など諸氏の邸地となりました。

一方米蔵は鉄砲洲に移ったものの、潮風が米の保存に適さなかったため、今度は浅草に移りました。これが現在の「蔵前」です。

(参考文献) 『中央区名所旧蹟探訪 日本橋編』窪田吾郎編 1997年刊

『日本橋・京橋地区(現東京都中央区)に所在する全神社の由来に関する実地調査』

第一住宅建設協会／編 1987年刊

図書館からのお知らせ

日本橋図書館映画の日 会場：6階図書館ホール

4月17日(土)・18日(日)

午前『劇場版 猫侍』(2013年・100分・日本) 午前10時上映
監督／三池崇史 出演／北村一輝、蓮佛美沙子 ほか



午後『家康、江戸を建てる』(前編、後編) (2019年・145分・日本) 午後2時上映
原作／門井慶喜 出演／佐々木蔵之介、柄本佑 ほか

5月15日(土)・16日(日)

午前『最強のふたり』(2011年・113分・フランス) 午前10時上映
監督／エリック・トレダノ、オリヴィエ・ナカシ 出演／フランソワ・クリュゼ、オマール・シー ほか

午後『風と共に去りぬ』(1939年・220分・アメリカ) 午後2時上映
監督／ヴィ克ター・フレミング 原作／マーガレット・ミッチエル 出演／クラーク・ゲイブル、
ヴィヴィアン・リー ほか

※上映作品は、都合により変更する場合があります。ご了承ください。

最近の行事より

「中央区の百貨店の歴史」展

令和2年10月23日～12月23日



中央区にある老舗百貨店は江戸の大店に始まり、明治・大正・昭和・平成・令和と歴史の中で形を変えながら、現在まで350年以上続いています。各百貨店の歴史のほか、周辺の街並みの写真や白木屋の氷冷蔵庫など展示した、見ごたえ満載の展示でした。

「珠玉のミステリーを味わう」展

令和2年12月25日～令和3年2月24日



今年も「このミステリーはすごい!」「週刊文春ミステリーベスト10」「本格ミステリ・ベスト10」「ミステリが読みたい」の4つを取り上げて、最新のランキングと過去4年分のランキングを展示了しました。たいへんご好評を頂き、たくさんの方に本を借りていただきました。

「クリスマス子ども会」

令和2年12月21日



赤ちゃんクラスと子どもクラスに分け、大型絵本の読み聞かせや手遊びのほかにも、パネルシアター、人形劇「ヘンゼルとグレーテル」などを上演しました。特にパネルシアターや人形劇はとても盛り上がりました。

「ぬいぐるみおとまり会」

令和3年2月14日～15日



3歳～未就学児を対象に「ぬいぐるみおとまり会」を行いました。お子さんとぬいぐるみと一緒におはなし会を聞いてもらったり、ぬいぐるみが夜中に図書館を探検し、選んでくれた本を貸し出したりと、とてもたのしいイベントになりました。

今後の行事の予定

子ども読書の日記念

「なんだかへんなのね」原画展

令和3年4月21日(水)～5月13日(木)

「図書館植物園」展 令和3年4月23日(金)～6月23日(水)

「えいごであおう!おはなし会」 令和3年4月26日(月)

編集後記

去年よりコロナウイルスが蔓延し、今までの生活様式が変わりつつあります。気持ちが落ち着かないときは、今回特集したムーミンや好きな本や音楽を聴いてリラックスしたいものです。(S.S.)